

国立国語研究所学術情報リポジトリ

表紙，目次，奥付，その他

雑誌名	研究報告集
巻	3
発行年	1982-03
シリーズ	国立国語研究所報告 ； 71
URL	http://id.nii.ac.jp/1328/00001317/

国立国語研究所報告 71

研究報告集

— 3 —

国立国語研究所

1982

刊行のことば

『研究報告集』は、国立国語研究所において、所員がそれぞれの研究段階で行った基礎的研究や附随的研究、また研究方法に関する実験的調査、結果を確認するための検証調査等についての小報告をまとめて公にするものである。

今回は、7編の論文をもってその第3集とし、ここに刊行することにした。

国語研究の上に寄与することができ、また教示、批判が得られれば幸いである。

昭和56年11月

国立国語研究所長 林 大

目 次

コ・ソ・アの指示領域について	高橋 太郎.....	1
	鈴木美都代	
叙法副詞の意味と機能	工藤 浩.....	45
——その記述方法を求めて——		
私生児を意味する方言のこと	渡辺 友左.....	93
撥音の実験音声学的研究	高田 正治.....	183
新聞の漢字含有率の変遷	梶原滉太郎.....	209
——明治・大正・昭和を通じて——		
就学前幼児の語彙.....	大久保 愛.....	237
——4児による日常生活語の実態——	川又瑠璃子	
各種文章の字種比率	佐竹 秀雄.....	327

『研究報告集』収録論文一覧

第1集

- 「も」によるとりたて形の記述的研究 高橋太郎
雑誌九十種資料の漢語表記 宮島達夫・高木 翠
談話行動の実験社会言語学的研究——目標と資料収集方法について——
江川 清
身ぶりの記述について 江川 清
身振りを記録する——「変位」の記録表試案—— 杉戸清樹
談話行動の計量的研究について 米田正人
表現法の調査方法について 佐藤亮一・真田信治・沢木幹栄
明治初期東京人の階層と語種との関係
——『安愚楽鍋』を中心として—— 飛田良文

第2集

- 意味分野と語種 宮島達夫
日本語の機能動詞表現をめぐる 村木新次郎
談話行動の総合テキストについて 南 不二男・江川 清・米田正人・
杉戸清樹
文章朗読における調音上の特徴について 高田正治
幼児の使用語の意味の理解——満2歳児の一日調査から—— 大久保 愛
語の意味発達——最近の研究動向から—— 岩田純一
談話における「はい」と「ええ」の機能 日向茂男
音韻論における日本語五母音体系 石井久雄

国立国語研究所刊行書一覧

国立国語研究所報告

1	八 丈 島 の 言 語 調 査	秀英出版刊	品切れ
2	言 語 生 活 の 実 態 ——白河市および付近の農村における——	〃	〃
3	現 代 語 の 助 詞 ・ 助 動 詞 ——用 法 と 実 例——	〃	2,000円
4	婦 人 雑 誌 の 用 語 ——現代語の語彙調査——	〃	品切れ
5	地 域 社 会 の 言 語 生 活 ——鶴岡における実態調査——	〃	〃
6	少 年 と 新 聞 ——小学生・中学生の新聞への接近と理解——	〃	〃
7	入 門 期 の 言 語 能 力	〃	〃
8	談 話 語 の 実 態	〃	〃
9	読 み の 実 験 的 研 究 ——音読にあらわれた読みあやまりの分析——	〃	〃
10	低 学 年 の 読 み 書 き 能 力	〃	〃
11	敬 語 と 敬 語 意 識	〃	〃
12	総 合 雑 誌 の 用 語(前編) ——現代語の語彙調査——	〃	〃
13	総 合 雑 誌 の 用 語(後編) ——現代語の語彙調査——	〃	〃
14	中 学 年 の 読 み 書 き 能 力	〃	〃
15	明 治 初 期 の 新 聞 の 用 語	〃	〃
16	日 本 方 言 の 記 述 的 研 究	明治書院刊	〃
17	高 学 年 の 読 み 書 き 能 力	秀英出版刊	〃
18	話 し こ と ば の 文 型 (1) ——対話資料による研究——	〃	〃
19	総 合 雑 誌 の 用 字	〃	〃
20	同 音 語 の 研 究	〃	〃
21	現 代 雑 誌 九 十 種 の 用 語 用 字 (1) ——総記および語彙表——	〃	〃
22	現 代 雑 誌 九 十 種 の 用 語 用 字 (2) ——漢 字 表——	〃	〃

23	話 し こ と ば の 文 型 (2) ——独話資料による研究——	秀英出版刊	品切れ
24	横 組 み の 字 形 に 関 す る 研 究	〃	〃
25	現 代 雑 誌 九 十 種 の 用 語 用 字 (3) ——分 析——	〃	〃
26	小 学 生 の 言 語 能 力 の 発 達	明治図書刊	2,100円
27	共 通 語 化 の 過 程 ——北海道における親子三代のことば——	秀英出版刊	品切れ
28	類 義 語 の 研 究	〃	〃
29	戦 後 の 国 民 各 層 の 文 字 生 活	〃	400円
30-1	日 本 言 語 地 図 (1)	大蔵省印刷局刊	品切れ
30-2	日 本 言 語 地 図 (2)	〃	〃
30-3	日 本 言 語 地 図 (3)	〃	〃
30-4	日 本 言 語 地 図 (4)	〃	〃
30-5	日 本 言 語 地 図 (5)	〃	〃
30-6	日 本 言 語 地 図 (6)	〃	〃
31	電 子 計 算 機 に よ る 国 語 研 究	秀英出版刊	〃
32	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(1) ——親族語彙と社会構造——	〃	〃
33	家庭における子どものコミュニケーション意識	〃	350円
34	電 子 計 算 機 に よ る 国 語 研 究 (Ⅱ) ——新聞の用語用字調査の処理組織——	〃	品切れ
35	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(2) ——マキ・マケと親族呼称——	〃	450円
36	中 学 生 の 漢 字 習 得 に 関 す る 研 究	〃	5,000円
37	電 子 計 算 機 に よ る 新 聞 の 語 彙 調 査	〃	品切れ
38	電 子 計 算 機 に よ る 新 聞 の 語 彙 調 査 (Ⅱ)	〃	2,800円
39	電 子 計 算 機 に よ る 国 語 研 究 (Ⅲ)	〃	700円
40	送 り が な 意 識 の 調 査	〃	1,500円
41	待 遇 表 現 の 実 態 ——松江24時間調査資料から——	〃	900円
42	電 子 計 算 機 に よ る 新 聞 の 語 彙 調 査 (Ⅲ)	〃	1,200円
43	動 詞 の 意 味 ・ 用 法 の 記 述 的 研 究	〃	6,000円
44	形 容 詞 の 意 味 ・ 用 法 の 記 述 的 研 究	〃	4,000円

45	幼 児 の 読 み 書 き 能 力	東京書籍刊	4,500円
46	電 子 計 算 機 に よ る 国 語 研 究 (IV)	秀英出版刊	700円
47	社会構造と言語の関係についての基礎的研究(3) ——性向語彙と価値観——	〃	700円
48	電 子 計 算 機 に よ る 新 聞 の 語 彙 調 査 (IV)	〃	3,000円
49	電 子 計 算 機 に よ る 国 語 研 究 (V)	〃	900円
50	幼 児 の 文 構 造 の 発 達 ——3歳～6歳児の場合——	〃	品切れ
51	電 子 計 算 機 に よ る 国 語 研 究 (VI)	〃	1,000円
52	地 域 社 会 の 言 語 生 活 ——鶴岡における20年前との比較——	〃	1,800円
53	言 語 使 用 の 変 遷 (1) ——福島県北部地域の面接調査——	〃	2,500円
54	電 子 計 算 機 に よ る 国 語 研 究 (VII)	〃	1,000円
55	幼 児 語 の 形 態 論 的 な 分 析 ——動詞・形容詞・述語名詞——	〃	品切れ
56	現 代 新 聞 の 漢 字	〃	〃
57	比 喩 表 現 の 理 論 と 分 類	〃	6,000円
58	幼 児 の 文 法 能 力	東京書籍刊	5,500円
59	電 子 計 算 機 に よ る 国 語 研 究 (VIII)	秀英出版刊	1,300円
60	X線映画資料による母音の発音の研究 ——フオォーム研究序説——	〃	2,500円
61	電 子 計 算 機 に よ る 国 語 研 究 (IX)	〃	1,300円
62	研 究 報 告 集 (1)	〃	1,700円
63	児 童 の 表 現 力 と 作 文	東京書籍刊	6,000円
64	各地方言親族語彙の言語社会学的研究(1)	秀英出版刊	2,000円
65	研 究 報 告 集 (2)	〃	3,000円
66	幼 児 の 語 彙 能 力	東京書籍刊	8,000円
67	電 子 計 算 機 に よ る 国 語 研 究 (X)	秀英出版刊	1,500円
68	専 門 語 の 諸 問 題	〃	4,000円
69	幼 児 ・ 児 童 の 連 想 語 彙 表	東京書籍刊	6,800円
70-1	大 都 市 の 言 語 生 活 ——分析編——	三省堂刊	7,800円
70-2	大 都 市 の 言 語 生 活 ——資料編——	〃	12,000円

国立国語研究所資料集

1	国語関係刊行書目（昭和17～24年）	秀英出版刊	45円
2	語彙調査 —現代新聞用語の一例—	〃	品切れ
3	送り仮名法資料集	〃	〃
4	明治以降国語学関係刊行書目	〃	〃
5	沖縄語辞典	大蔵省印刷局刊	3,500円
6	分類語彙表	秀英出版刊	1,800円
7	動詞・形容詞問題語用例集	〃	1,700円
8	現代新聞の漢字調査（中間報告）	〃	500円
9	牛店雄談 安愚楽鍋用語索引	〃	1,500円
10-1	方言談話資料(1) —山形・群馬・長野—	〃	6,000円
10-2	方言談話資料(2) —奈良・高知・長崎—	〃	6,000円
10-3	方言談話資料(3) —青森・新潟・愛知—	〃	6,000円
10-4	方言談話資料(4) —福井・京都・島根—	〃	6,000円
10-5	方言談話資料(5) —岩手・宮城・千葉・静岡—	〃	6,000円
11	日本言語地図語形索引	大蔵省印刷局刊	1,500円

国立国語研究所研究部資料

幼児のことば資料(1)	秀英出版刊	3,800円
幼児のことば資料(2)	〃	3,800円

国立国語研究所論集

1	ことばの研究	秀英出版刊	品切れ
2	ことばの研究 第2集	〃	〃
3	ことばの研究 第3集	〃	〃
4	ことばの研究 第4集	〃	1,300円
5	ことばの研究 第5集	〃	1,300円

日本語教育教材

1	日本語と日本語教育	国立国語研究所 文化庁共編	大蔵省印刷局刊	650円
	—発音表現編—			
2	日本語と日本語教育	—文字表現編—	〃	850円

3	日 本 語 の 文 法 (上)	——日本語教育指導参考書 4——大蔵省印刷局刊	450円
4	日 本 語 の 文 法 (下)	——日本語教育指導参考書 5——	” 550円
5	日 本 語 教 育 の 評 価 法	——日本語教育指導参考書 6——	” 700円
6	中 ・ 上 級 教 授 法	——日本語教育指導参考書 7——	” 500円
7	日 本 語 の 指 示 詞	——日本語教育指導参考書 8——	” 500円

国立国語研究所年報 秀英出版刊

1	昭 和 24 年 度	品切れ	17	昭 和 40 年 度	品切れ
2	昭 和 25 年 度	”	18	昭 和 41 年 度	300円
3	昭 和 26 年 度	160円	19	昭 和 42 年 度	300円
4	昭 和 27 年 度	160円	20	昭 和 43 年 度	品切れ
5	昭 和 28 年 度	品切れ	21	昭 和 44 年 度	”
6	昭 和 29 年 度	200円	22	昭 和 45 年 度	”
7	昭 和 30 年 度	品切れ	23	昭 和 46 年 度	450円
8	昭 和 31 年 度	”	24	昭 和 47 年 度	450円
9	昭 和 32 年 度	”	25	昭 和 48 年 度	品切れ
10	昭 和 33 年 度	”	26	昭 和 49 年 度	600円
11	昭 和 34 年 度	”	27	昭 和 50 年 度	700円
12	昭 和 35 年 度	350円	28	昭 和 51 年 度	非 売
13	昭 和 36 年 度	160円	29	昭 和 52 年 度	非 売
14	昭 和 37 年 度	220円	30	昭 和 53 年 度	800円
15	昭 和 38 年 度	250円	31	昭 和 54 年 度	1,200円
16	昭 和 39 年 度	品切れ	32	昭 和 55 年 度	1,300円

国 語 年 鑑 秀英出版刊

昭 和 29 年 版	品切れ	昭 和 35 年 版	品切れ
昭 和 30 年 版	”	昭 和 36 年 版	”
昭 和 31 年 版	”	昭 和 37 年 版	”
昭 和 32 年 版	”	昭 和 38 年 版	”
昭 和 33 年 版	”	昭 和 39 年 版	”
昭 和 34 年 版	”	昭 和 40 年 版	”

昭和 41 年版	品切れ	昭和 49 年版	3,800円
昭和 42 年版	〃	昭和 50 年版	3,800円
昭和 43 年版	〃	昭和 51 年版	4,000円
昭和 44 年版	〃	昭和 52 年版	品切れ
昭和 45 年版	1,500円	昭和 53 年版	4,600円
昭和 46 年版	2,000円	昭和 54 年版	4,800円
昭和 47 年版	2,200円	昭和 55 年版	5,200円
昭和 48 年版	2,700円	昭和 56 年版	6,500円

高 校 生 と 新 聞	国立国語研究所 日本新聞協会 共編	秀英出版刊	280円
青年とマス・コミュニケーション	日本新聞協会 国立国語研究所 共著	金沢書店刊	品切れ

国立国語研究所三十年のあゆみ ——研究業績の紹介——	秀英出版刊	1,500円
-------------------------------	-------	--------

日 本 語 教 育 教 材 映 画 一 覧

(各巻16ミリカラー, 5分, 日本シネセル社販売)

巻	題 名	プリント価格
第1巻*	これは かえるです ——「こそあど」+「は~です」——	30,000円
第2巻*	さいふは どこにありますか ——「こそあど」+「~がある」——	〃
第3巻*	やすすくないです, たかいです ——形容詞とその活用導入——	〃
第4巻*	なにを しましたか ——動 詞——	〃
第5巻*	しずかなこうえんで ——形容動詞——	〃
第6巻*	さあ, かぞえましょう ——助 数 詞——	〃
第7巻	うつくしいさらに になりました ——「なる」「する」——	〃
第8巻*	きりんは どこにいますか ——「いる」「ある」——	〃
第9巻*	かまくらを あるきます ——移動の表現——	〃
第10巻	おかねを とられました ——受身の表現1——	〃
第11巻*	どちらが すきですか ——比較・程度の表現——	〃
第12巻*	もみじが とてもきれいでした ——です, でした, でしょう——	〃

第13巻*	きょうは あめが ふっています —して、している、していた—	30,000円
第14巻*	そうじは してありますか —してある、しておく、してしまう—	//
第15巻*	おみまいに いきませんか —依頼・勧誘の表現—	//
第16巻*	なみのおとが きこえてきます —「いく」「くる」—	//
第17巻	みずうみのえを かいたことがありますか —経験・予定の表現—	//
第18巻	あのいわまで およげますか —可能の表現—	//
第19巻	よみせを みに いきたいです —意志・希望の表現—	//
第20巻	てんきが いいから さんぽを しましょう —原因・理由の表現—	//
第21巻	さくらが きれいだ そうです —伝聞・様態の表現—	//
第22巻	あめに ふられて こまりました —受身の表現2—	//

第1巻～第3巻は、文化庁との共同企画

VTR価格1/2インチオープンリール21,000円、3/4インチカセット20,000円

* 印については日本語教材映画解説の冊子がある。

昭和57年3月

国立国語研究所

〒115 東京都北区西が丘3-9-14
電話東京(900) 3111(代表)

UDC 809.56(082)

NDC 810.5

OCCASIONAL PAPERS -3-

- TAKAHASHI Tarō and SUZUKI Mitsuyo: The Function of the Three Sets of Deictic Terms: Ko-, So-, A- in Referring to Physical Space—A Sketch of the Development of Such Studies from 1833 to the Present and an Experimental Study—
- KUDŌ Hiroshi: Meanings and Functions of Modal Adverbs in Modern Japanese—In Search of a Method of Description—
- WATANABE Tomosuke: A Study of Terms in Japanese Dialects Denoting an Illegitimate Child
- TAKADA Masaharu: An Experimental Phonetic Study of the Syllabic Nasal in Japanese
- KAJIWARA Kōtarō: The Changing Proportions of Kanji in Newspapers—An Investigation of the Meiji, Taishō and Shōwa Eras—
- OOKUBO Ai and KAWAMATA Ruriko: The Lexicon of Pre-school Children—A Study of the Actual Usage of Four Children—
- SATAKE Hideo: On the Frequency Ratio of Kinds of Letters in All Sorts of Sentence

THE NATIONAL LANGUAGE RESEARCH INSTITUTE

3-9-14 NISIGAOKA, KITA-KU, TOKYO

1982